

科学者委員会 学術体制分科会（第 25 期・第13回）

議事要旨

1. 日 時 令和 5 年 6 月 14 日（水）13:00～15:00

2. 会 場 オンライン会議（Zoom）

3. 出 席 者

吉村委員長、橋本副委員長、石塚、梶田、川名、小林（傳）、小林（武）、中西、菱田、光石、望月、山田

（欠席）北川幹事、佐々木幹事、伊佐、伊藤、萩田、吉田

（参考人）佐々木孝彦

4. 議 事

（1）前回議事要旨の確認

- ・資料 1 に基づき、第 12 回議事要旨（案）について特段の意見なく承認した。

（2）ヒアリング（G7 WG の状況について）

- ・佐々木孝彦先生から、資料 2 に基づき、G7 科学技術大臣会合での取組の一つとして、グローバルな研究エコシステムにおけるセキュリティとインテグリティWGでの活動について紹介いただいた。その後、委員からの質疑応答を行った。

（3）見解/報告原稿の審議

- ・委員長から、参考資料 4 に基づき、科学的助言等対応委員会からの助言の内容について説明がなされた。その中で、グローバルな議論の状況への目配りについて、各国の対応や各国ナショナルアカデミーの対応等もう少し深堀された方がよいとのコメントがあり、これに対応するために、本日、佐々木孝彦先生からのヒアリングが行われたとのこと。
- ・続いて、委員長から、資料 3 に基づき、対応委員会からの助言を踏まえて行われた修正点の説明がなされた。その後、出席委員全員から修正案に対する意見やコメントが述べられた。
- ・今後、各委員からの内容や表現の精査をいただいて事務局に集め、次の版を作成する予定。

（4）小委員会審議状況報告

- ・小委員会委員長（病欠）の代理として小林（傳）委員から、文部科学省からの審議依頼に対する「回答」作成に向けた審議状況の報告がなされた。様々な関係者を招いて意見交換を行うとともに、小委員会委員でアンケートを作成し、日本学術会議会員や連携会員に調査を実施し、貴重な意見を収集したとのこと。現在解析中。
- ・小林（傳）委員から、これらの活動を踏まえた資料 4 に基づき、意思の表出の申出書案の説明がなされた。そして、委員会での承認が得られた。
- ・対応委員会に申出書を提出し、「回答」作成作業を進めていく。

(5) その他

・なし。

資料：

資料1 第12回議事要旨（案）

資料2 「研究インテグリティに関する状況について—G7科学技術大臣会合と関連動向—」（参考人 佐々木 孝彦）

資料3 見解/報告案

資料4 意思の表出の申出書案（論文査読）

参考資料1 230513_G7_communique（参考人 佐々木 孝彦）

参考資料2 G7-Best Practice Paper - FINAL VERSION（参考人 佐々木 孝彦）

参考資料3 G7 Common Values and Principles on Research Security and Research Integrity
（参考人 佐々木 孝彦）

参考資料4 【助言】2023-024(063)見解又は報告「科学者コミュニティからの研究インテグリティに関する課題と対応(タイトル未定)」